

カテゴリー		アクション	確認	特に園で取り組みたいこと アクション番号・具体的なアクションの内容・それを実現するための具体的な方法・手段等	達成度 ◎・○・△・×	評価・次年度に向けて
Ⅰ 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1)乳幼児の教育・保育について、質の高い実践を行います。	☐	カテゴリーⅠ（3） ・こども療育センターなどの専門機関や保育カウンセラーと連携し、子ども一人一人に合わせた支援を検討し、実践していく。 ・全職員が「人権擁護のためのセルフチェックリスト」をつけ、定期的に保育を振り返り、人権的配慮について話し合う。 ・家庭環境や生育歴を把握し、職員間で情報共有しながら個別支援に努める。 カテゴリーⅠ（4） ・マニュアルに基づいたアレルギーの子どもへの対応について全職員で共通理解を図り、安全な食事の提供に努める。		
		(2)自己評価の研究・活用による教育・保育の質の向上を進めます。	☐			
		(3)子ども一人一人のニーズに対応したきめ細やかな教育・保育を提供します。	☐			
		(4)子どもの健康支援並びに安全の確保をします。	☐			
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5)保育者等の人間性と専門性の向上に努め、質の高い乳幼児の教育・保育を展開します。	☐			
		(6)施設長の責務を明らかにし、専門性の向上に努めます。	☐			
		(7)研修体系を確立し、研修意欲を高め、積極的に研修に取り組む環境を作ります。	☐			
Ⅱ 子育て家庭を支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8)子どもを産み育てることへの不安を解消するための機能を発揮します。	☐	カテゴリーⅡ（9） ・クラス懇談、個人懇談および保育参観を実施し、保護者と子どもの育ちを共有していく。 ・より支援が必要な家庭には送迎時に様子を伝え、個別で懇談をするなど、悩みに寄り添いながら子育ての不安解消につなげていく。 カテゴリーⅡ（10） ・各クラスが月4回ドキュメンテーションを配信し、子どもの日々の学びや育ちを感じてもらえるよう、情報提供を行う。		
		(9)家庭との密接な連携を行い、子育てに共に取り組みます。	☐			
	地域の子育て家庭への支援の充実を図ります	(10)子育ての喜びや楽しさを実感できるように、教育・保育の専門性を生かした子育て支援を行います。	☐			
		(11)地域子育て支援を展開します。	☐			
		(12)地域の子育て家庭に対する保育相談及び援助の充実を図ります。	☐			
Ⅲ 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13)福井市の支援事業実施関係機関や、地域を基盤とした子育て支援ネットワークとの充実を図ります。	☐	カテゴリーⅢ（14） ・年4回以上、幼児教育から小学校教育への接続講座・研修へ積極的に参加し、幼児期の育ちや学びの理解を深め、保幼小の連携を図る。 ・園内公開保育や、夏休みの期間に、小学校教諭等の園体験や参観の機会を設け、園との連携を深めていく。		
		(14)小学校等との連携を深めます。	☐			
		(15)認定こども園、保育所等が中心となった地域子育て協働を展開し、子育て支援の総合的な拠点となります。	☐			
	地域と連携して教育・保育機能を強化します	(16)地域の実情を把握し、子育て家庭を支える資源を活用し、連携を充実します。	☐			
Ⅳ 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(17)子どもと地域の人々との接点づくりに取り組みます。	☐	カテゴリーⅣ（17） ・園開放を通し、子育てに関する情報を提供したり、園の子どもと交流したりする場を設ける。また、地域の子どもに、縁日ごっこや人形劇に参加を促し、子育て支援を広める。 ・旭公民館と家庭教育学級を開催し、公民館との連携を図る。		
		(18)地域住民に認定こども園・保育所等への理解を深めてもらう取り組みを進めます。	☐			
	子育て文化につながる活動を広げます	(19)子育て支援活動への参加のきっかけをひろげ、すべての子育て家庭の親子の参加運動を進めます。	☐			
		(20)すべての世代が関わる子育て文化の掘り起こしや子育て支援の推進や普及に取り組みます。	☐			
Ⅴ 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	これからの乳幼児の教育・保育及びその制度について研究を行います	(21)認定こども園・保育所等の役割、機能について研究を行います。	☐	カテゴリーⅤ（22） ・園で取り組んだ研修の成果を保育合同研究発表会等で発信、意見交換を行い、実践に活かす。 ・教育・保育の動向について積極的に情報収集し、全職員で情報共有していく。		
		(22)これからの乳幼児の教育・保育制度について課題の共有を行います。	☐			
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(23)福井市の児童福祉関係機関との連携を深め、教育・保育・子育て支援の仕組みづくりを進めます。	☐			

《確認》年度末に確認、☒ チェックをする。

《特に園で取り組みたいこと》23のアクションから、特に園で取り組む内容（番号も記載）と具体的な方法等を記載する。

《達成度》◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。△：不足する部分や問題があった。×：目標を達成することができなかった。

《評価・次年度に向けて》達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。